
夢幻

秋月あきら（ししゃもにゃん）

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢幻

【Nコード】

N0101E

【作者名】

秋月あきら（ししゃもにゃん）

【あらすじ】

ヴァーミリオンからワールドへ。星は煌めきながら墜ちてゆく。

夕焼けの屋上

光の赤い波長が空でダンスして、飛び交って、夕焼けに染まる空。
果てない空。——宇宙^{そふ}。

少し冷たい風の吹く、静かな学校の屋上。哀愁という絵の具が世界を彩っている。

風に靡く髪の毛を片手で押さえながら、フェンス越しに街に黒い影が差していくのを眺める少女。

彼女のエメラルドグリーンの瞳には、ペンタグラム（五芒星）が映し出されていた。

静かな屋上にいるのは二人だけ、少女と、——それに青年。

底の固い靴で地面に一定のリズムを刻みながら、青年は少女に引き寄せられたように近づいた。

「何を見ているの？」

青年は聞いた。何処にでもある、有り触れた言葉。

振り向いた少女の顔についた、薔薇の蕾^{つぼみ}のような小さな唇が花開いた。

「色を観ているの。楽しい色、悲しい色、いろんな色たちが棲んでいるから……」

鈴^{すず}が歌うような、清んだ声音。魔法に架かってしまいそうになる、魅言葉^{みことば}。

目を瞑り、青年はゆっくりと空を見上げて吐息を零すと、目を眩しそうに開けた。瞳を透して赤い色が浸入してくる。

「もうすぐ色たちは還ってしまうね。最後までこの世界で遊んでいた赤たちも、眠りに就く時間」

「そうね、もうすぐ色たちとは違うモノ——闇が降りてくる。だから私たちも、還ろう……」

青年のヘキサグラム（六芒星）の瞳には、確かに少女に白い翼が生えたのが《視^みえた》。この世界で彼だけが《視^みえる》モノ——。

特別なモノだから――。

微笑みを浮かべる少女の、白く透き通る細い指が、緩やかな水の流れのように差し出され――。

二人はフェンスを越えて、消えた――。

忘却の彼方にある、別世界への旅立ち。全てを忘れてしまふ世界。その世界には色も無ければ、闇も無い、何も無い世界。

次の日の早朝。青年の部屋で一通の、両親と友人に宛てられた手紙が見つかった――。

ワールド

世界は全て、夜よりも、黒よりも、何よりも、暗い闇だった。それは間違った表現。——ここは無に呑み込まれた世界。

けれど青年はここにいた。

無の中に青年と少女はいた。自分のカタチすら確認することすら叶わない無の中で――。

二人は確かにここにいる。そう想うから、願うから、互いに感じるから。

風も、音も、時間すら無い世界での自身の認識。心で想うこと、それが自身の確認。

周りと自分が違うことに気づいた瞬間、青年の世界が広がった。光踊る空、風の靡く世界で花が咲き乱れ、小川がせせらぎ流れ、世界が華開いた。五感全てが世界を確認した。

多くの生物たちが姿を現し歌ってる。笑ってる。生きている。活気に満ち溢れて零れてしまいくらいに……。

ペンタグラムを映し出す、綺麗なエメラルドグリーンの瞳が青年を覗いてた。

「これがあなたの世界？」

この世界に相応しい歌うような鈴の声。世界が一層輝き彩られた。戸惑いを覚える青年。ここが本当に還るべき世界なのか、否か……。

想うことによる想像による創造。

「わからない。ここが還るところなのか？」

戸惑い、迷い続ける青年に白い翼の生えた少女は哀しそうに呟いた。

「黒い翼はまだ白くはならないのね」

いつの間にか青年の背中に生えた黒い翼。闇のように暗い漆黒の翼は白には還れない。

燃え上がる世界。紅蓮の炎が世界を包み、燃やし、溶かし、黒に変えていく――。

崩れ落ち、崩壊していく世界。――これが望み？

世界が壊れ、地面すら、空さえも壊れた。

再び堕ちていく青年。どこまでも、どこまでも終わり無き闇の中を――。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0101e/>

夢幻

2010年11月10日23時29分発行